



藤枝市  
Fujieda City

# エコアクション21 環境経営レポート

(令和3年4月～令和4年3月)



蓮華寺池公園

藤 枝 市



# 藤枝市環境経営方針

## 【基本理念】

私たちのまち藤枝市は、緑と水に囲まれた美しい恵まれた環境の中で、調和のとれた産業を育み、地域に根ざした伝統文化を大切に守りながら郷土とともに発展してきました。

このかけがえのない環境の恩恵を将来にわたって、守り、育み、さらに継承するために、平成21年12月に「“もったいない”都市宣言」を行いました。

藤枝市は、この宣言のもと、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会の構築に向け、すべての市民が環境の大切さに「気付き」、「学び」、そして「行動」をする「環境日本一のまち」の実現を目指し、環境経営の継続的な改善を実施してまいります。

## 【基本方針】

### 1 環境に配慮した事務事業を推進します。

省資源・省エネルギー、廃棄物の削減及びリサイクル等、環境負荷の低減に努めます。

### 2 環境関連法規等を遵守します。

環境関連法規等を遵守し、環境保全に努めます。

### 3 地球の環境保全・創造に向けて取り組みます。

ゼロカーボンシティや循環型社会の構築に向け、温室効果ガス排出量の削減や6Rの推進による廃棄物の発生抑制などの地球環境の保全・創造に努めます。

### 4 もったいない運動を推進します。

“もったいない”をキーワードとした「もったいない運動」を全市的に展開し、市民・事業者・行政が一丸となった環境保全活動を推進します。

### 5 グリーン購入を推進します。

環境に配慮した物品等の調達に努めます。

### 6 環境関係の情報を幅広く提供します。

環境に関する情報を、幅広く提供し、市民・事業者の環境活動を支援します。

### 7 SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献します。

環境施策を推進することにより、「藤枝版ローカルSDGs」の実現を目指し、国際的な目標の達成に貢献します。

令和3年4月1日

藤枝市長 北村 正平

# 目次

第1章 藤枝市の基本的事項	1
1 藤枝市の概況	1
(1) 概要	1
(2) 地勢	1
(3) 気象	1
2 組織の概要	2
(1) 自治体名及び首長名	2
(2) 環境管理責任者	2
(3) 所在地	2
(4) 担当課	2
(5) 事業活動の内容	2
(6) 事業規模	2
(7) 組織機構	3
3 推進体制	5
(1) 環境施策の推進体制	5
(2) エコアクション21の推進における責任と役割	6
(3) エコアクション21の取組の対象範囲	6
4 環境に関する現状と課題	7
(1) ごみ収集処理	7
(2) 地球温暖化対策	7
(3) 自然環境の保全	8
(4) 環境教育の充実	9
第2章 藤枝市の環境への取組	10
1 取組の概況	10
2 藤枝市もったいない運動	10
(1) “もったいない”都市宣言	10
(2) グリーンカーテンコンテスト	11
(3) “もったいない”ポスターコンクール	11
(4) 藤枝市もったいない推進月間	12
3 藤枝市環境基本計画	13
(1) 基本理念	13
(2) 目指す将来像	13
(3) 基本目標	13
(4) 計画の期間	13
(5) 藤枝市環境基本計画の取組状況	14
(6) 令和3年度から新たに実施した主な取組	16
4 藤枝市地域エネルギービジョン	18
(1) 基本理念	18

(2) 基本方針と推進の方向 .....	18
(3) 目標 .....	18
(4) 計画の期間 .....	18
(5) 藤枝市地域エネルギービジョンの取組状況 .....	19
第3章 事業所としての環境への取組 .....	22
1 藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン .....	22
(1) 計画の概要 .....	22
(2) 目標達成に向けた取組 .....	22
(3) 目標 .....	24
(4) 計画の期間 .....	24
(5) 藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプランの取組状況 .....	25
2 エコアクション21 職員の環境行動指針10箇条 .....	28
3 令和3年度の各部における主な環境取組 .....	29
4 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果 .....	34
5 環境に関する苦情等受付状況 .....	39
(1) 市内で発生した苦情 .....	39
(2) 市の業務に対する苦情 .....	39
6 代表者による全体評価 .....	40

# 第1章 藤枝市の基本的事項

## 1 藤枝市の概況

### (1) 概要

藤枝市は、静岡県の中核、静岡市の西に隣接する市です。北部は赤石山系の南端に接し、南部には肥沃な志太平野が広がり市街地が形成されており、市の面積194.06 km<sup>2</sup>、人口142,955人(2022年3月時点)となっています。

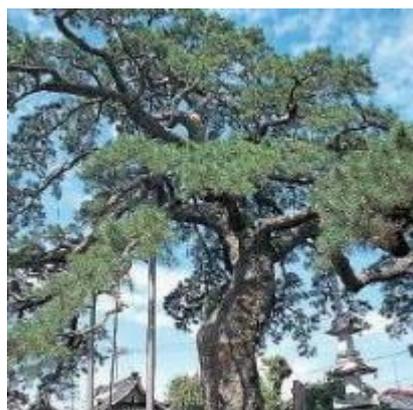
本市は、「元気なまち藤枝」づくりを基本理念に4K（環境・教育・健康・危機管理）を重点施策として取り組み、特に環境施策としては2009(平成21)年12月に“もったいない”都市宣言を行ったことを契機に、2010(平成22)年度から毎年12月を「もったいない推進月間」とし、市民・事業者・行政が一丸となって「環境日本一のまち」を目指した取組を推進しています。



藤枝市の位置



市の鳥 ウグイス



市の木 マツ



市の花 フジ

### (2) 地勢

地形は南北に長く、北部は赤石山系から連なる中山間地で、森林をはじめ豊かな緑に恵まれています。中部の平坦地は、市街地、住宅地を形成し、南部には、大井川、瀬戸川がつくる水田地帯が広がっています。

### (3) 気象

本市の最寄りの気象観測データ(志太消防本部焼津消防署)によると、2020(令和2)年の平均気温は17.6℃で温暖な気候です。

また、年間雨量は、気象庁のデータによると、2021(令和3)年の年間降水量は、山間部の高根山付近で3,735.0 mmであり、最大雨量は8月の725.0 mmです。

## 2 組織の概要

### (1) 自治体名及び首長名

自治体名：藤枝市

首長名：藤枝市長 北村 正平

### (2) 環境管理責任者

藤枝市環境水道部長 佐々木 康之

### (3) 所在地

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山1-11-1 (本庁舎)

### (4) 担当課

藤枝市環境水道部環境政策課

電話：054-643-3183

FAX：054-631-9083

E-mail：kankyoseisaku@city.fujieda.shizuoka.jp

ホームページ：https://www.city.fujieda.shizuoka.jp

### (5) 事業活動の内容

一般行政事務、保育、上水道事業、下水道事業、教育事務、小・中学校の運営など市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供

### (6) 事業規模

令和3年度一般会計当初予算：546億8,000万円

職員数(病院を除く)：2,206名(2022(令和4)年4月時点)



市役所本庁舎



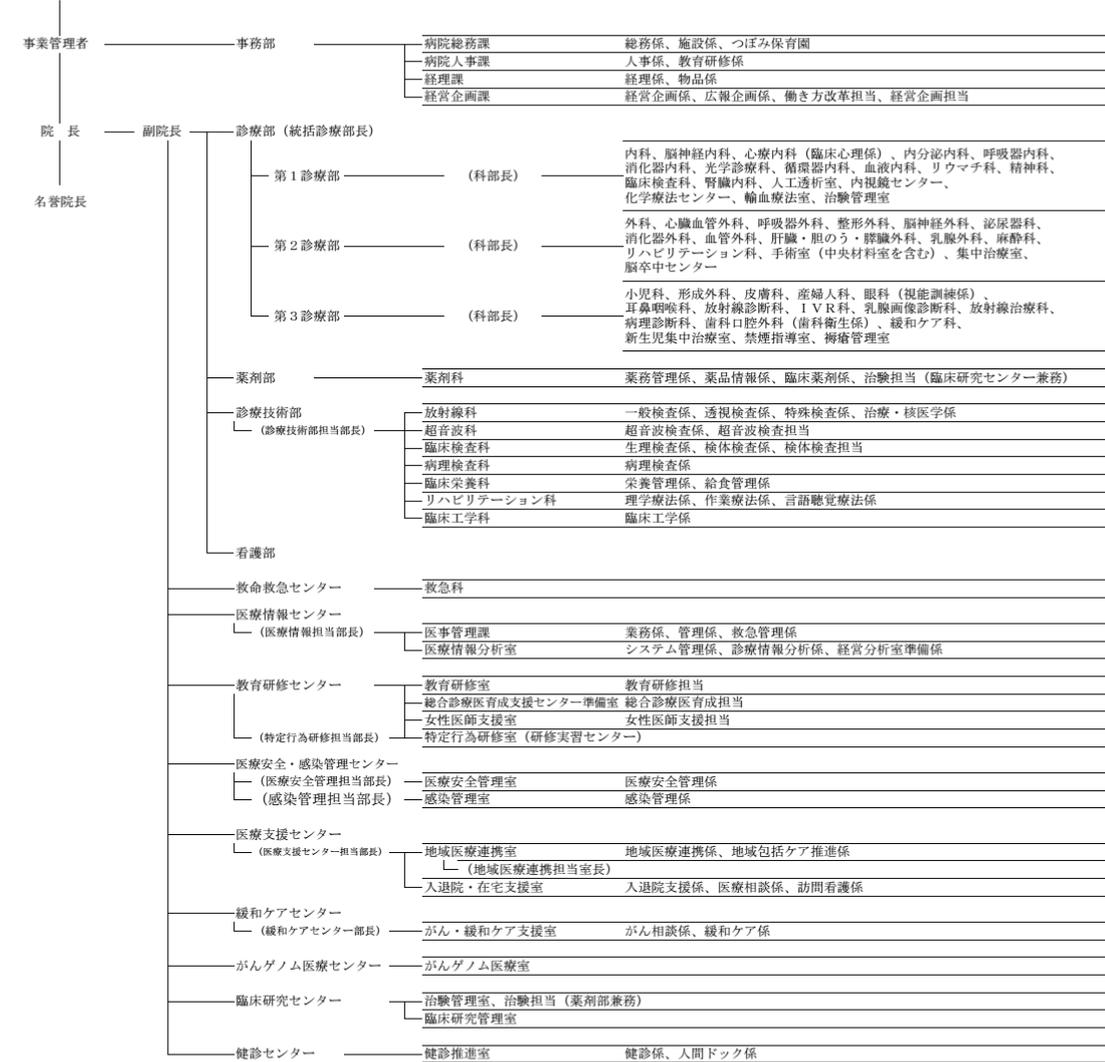
岡部支所

# (7) 組織機構

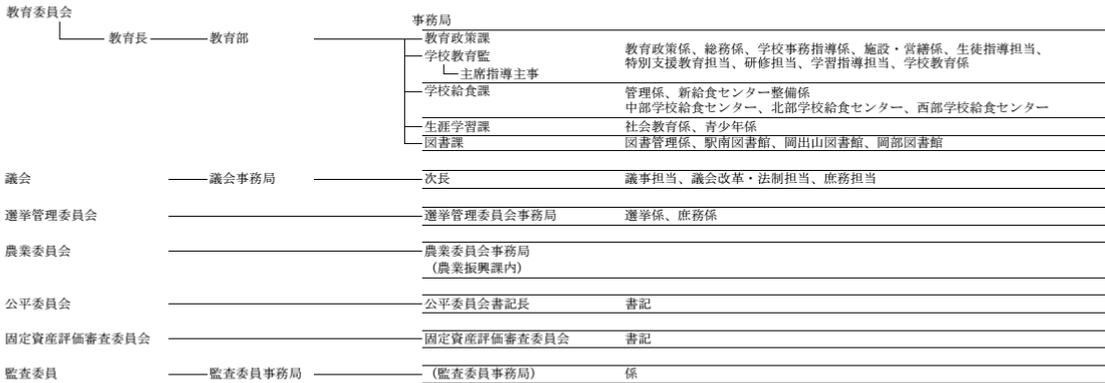
## 令和4年度 藤枝市行政組織機構

市長		副市長	
総務部	総務課	統計係、法務・議会担当、文書担当	
	人事課	人事担当、給与共済担当、女性活躍推進総括、厚生担当	
	人財育成センター	人財育成室	
	秘書課	採用活動担当、人財育成担当、働き方改革担当	
	契約検査課	秘書調整係	
	危機管理センター (危機管理監)	大規模災害対策課	契約係、検査員
		地域防災課	危機政策担当、原子力対策担当
			地域防災係
	企画創生部	企画政策課	企画政策係、都市創生担当、行政経営担当、ふるさと応援担当
		広域連携課	連携・定住推進係
広報課(報道監)		広報広聴係、広報戦略推進係	
情報デジタル推進課		システム管理係、デジタル化推進係、スマートシティ推進係	
財政経営部	財政課	財政担当	
	課税課	諸税・法人係、市民税係、家屋・償却資産係、土地係	
	納税課	管理係、収納係、徴収対策係	
	債権回収対策室	債権回収係	
	資産管理課	管財係、施設営繕係、アセットマネジメント係	
病院支援局	病院経営支援室	病院経営支援担当	
	病院連携室	病院連携担当	
市民協働部	協働政策課	地域協働推進係、文化センター係、施設管理担当 地区交流センター：瀬戸谷、稲葉、葉梨、広幡、西益津、藤枝、青島北、青島南、高洲、大洲	
	市民活動団体支援室	市民活動支援係	
	交通安全・地域安全課	交通安全係、地域安全係	
	市民相談センター	市民相談担当	
	消費生活センター	相談・啓発係	
	市民課	管理・マイナンバー係、窓口係、青島窓口係、戸籍係	
	男女共同参画・多文化共生課	男女共同参画担当、多文化共生担当	
	岡部支所	地域行政係、市民窓口係	
スポーツ文化観光部	観光交流政策課	観光政策係	
	スポーツ振興課	スポーツ推進係、スポーツ施設係、施設整備担当	
	サッカーのまち推進課	推進係	
	街道・文化課	芸術文化係、街道文化係、日本遺産・資源活用推進係	
	文化財課	文化財係、郷土博物館係	
	中山間地域活性化推進課	推進担当、施設担当、藤の瀬会館担当、陶芸村推進担当	
健康福祉部 (福祉事務所)	福祉政策課 (自立生活サポートセンター)	福祉政策係、地域福祉係、生活福祉係、自立支援係、高齢者活躍推進担当	
	障害福祉課	障害福祉係、障害者総合支援係、地域生活支援担当、基幹相談支援担当	
	介護福祉課	保険係、認定係	
	地域包括ケア推進課	地域支援係、医療・介護連携係、介護予防係	
	国民年金課	国民健康保険税係、国民健康保険給付係、後期高齢者医療係、国民年金係	
子ども未来応援局	児童課	子育て政策係、保育推進係、子育て応援係、訪問支援担当 保育園：前島、岡部みち、岡部あさひな 子育て支援センター：前島、あさひな、きすみれ、高洲、青島北、藤枝、葉梨	
	子ども・若者支援課	子ども・若者サポート係、家庭支援給付係	
	子ども発達支援センター	発達支援係、発達教育担当	
	健康企画課	健康企画担当、地域医療担当	
健やか推進局	健康推進課	地域保健係、成人保健係、健康支援係、母子保健係	
	コロナウイルス対策課	対策係、接種係	
	産業政策課	産業政策担当、中小企業振興係、マーケティング担当、就労促進担当	
産業振興部	創業支援室	創業支援係	
	企業立地戦略課	産業集積推進係、オフィス立地推進係	
	農業振興課 (農業委員会事務局)	農業振興係、農地利用係、次世代農業推進担当、農福連携担当、 農地利用最適化担当	
	お茶のまち推進室	お茶のまち推進係	
	農林基盤整備課	農林土木係、森林整備係	
	商業振興課	商業係	
	商店街活性化推進室	推進係	
都市建設部	都市政策課	都市政策係、計画係、土地対策係、都市景観係、技術指導担当	
	住まい戦略課	住宅政策係、空き家対策係	
	地域交通課	公共交通係、新交通推進係	
	中心市街地活性化推進課	再開発担当、推進担当	
	建築住宅課	建築指導係、市営住宅係、建築営繕担当	
	花と緑の課	花と緑の係、計画整備係、公園魅力づくり担当	
基盤整備局	建設管理課	管理係、建設調整係、地籍調査係、用地係	
	道路課	生活道路係、幹線道路係、維持係、道路ストック係	
	河川課	計画係、工務係	
	水害対策室	水防担当	
環境水道部	環境政策課	環境政策係、もったいない運動推進担当、自然環境保全担当	
	生活環境課	廃棄物対策係、生活環境係、環境保全係	
	クリーンセンター推進課	推進係	
	上水道課	管理係、工務係、送水係、維持係、給水係、山間地水道整備係	
	下水道課	管理係、排水設備係、工務係、施設係、計画統括担当	
会計管理者	出納室	審査係、出納係	

令和4年度 藤枝市行政組織機構

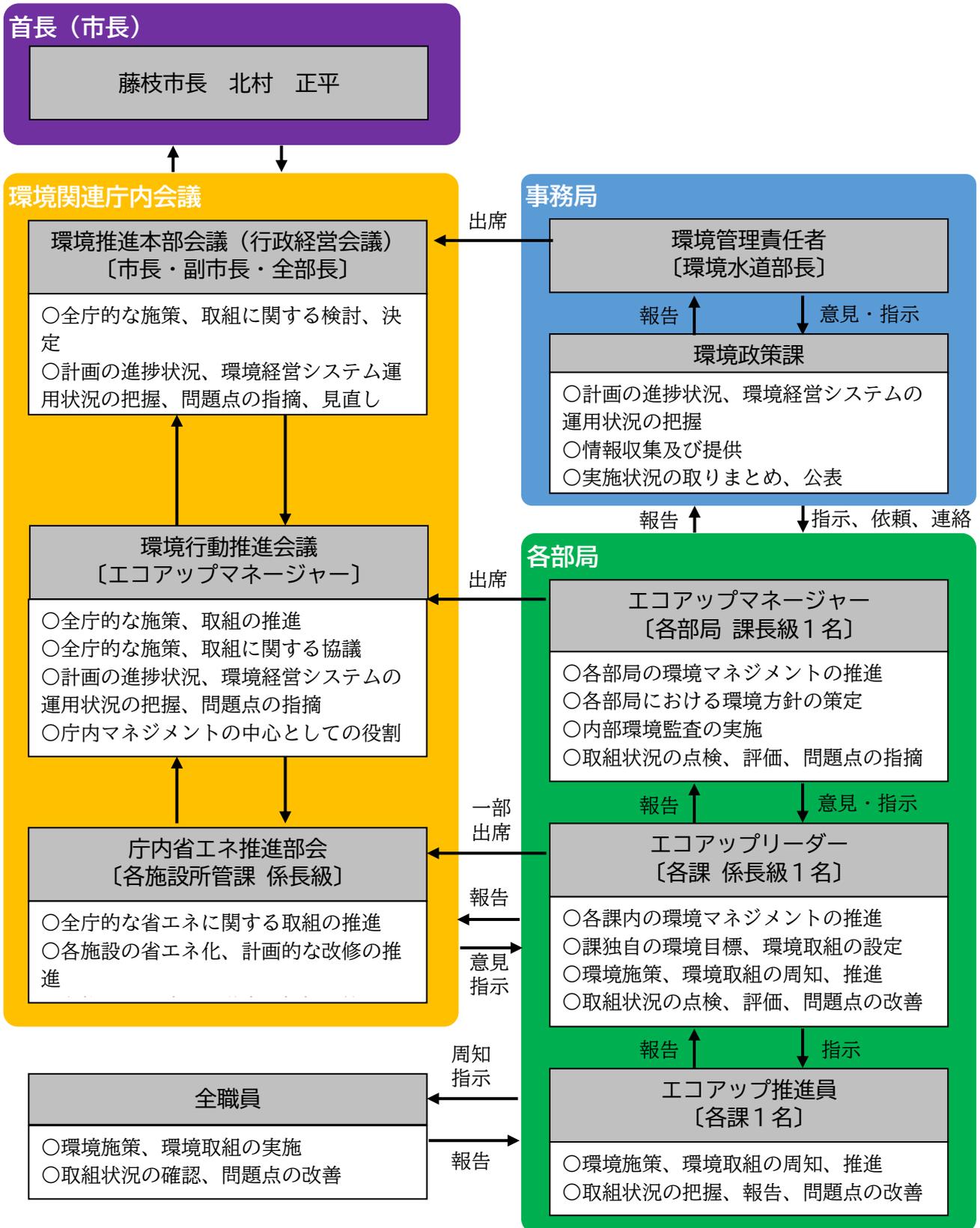


※副院長は、経営・医療情報、教育研修、医療安全管理、地域医療連携、健診、救急・危機管理、働き方改革の各分野を担当する。



### 3 推進体制

#### (1) 環境施策の推進体制



## (2) エコアクション21の推進における責任と役割

### 管理組織

職名・会議名	主な責任と役割
首長（市長） 環境推進本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の策定</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境経営システムの運用に必要な経営資源（人財、資金等）の用意</li> <li>・環境経営システム全体の評価と見直し</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者 （環境水道部長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システム全体の構築、運用、管理</li> <li>・各部署の責任者及び担当者の任命（エコアップマネージャー等）</li> <li>・各部署への環境経営システムの運用を指示</li> <li>・環境経営システムの運用状況を首長へ報告</li> </ul>
環境行動推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの推進、環境マネジメントの推進</li> </ul>
省エネ推進部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネに関する取組の推進、各施設の省エネ化、計画的な改修の推進</li> </ul>
事務局 （環境政策課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的な環境経営システムの運用状況の把握</li> <li>・環境経営システム運用のための研修の実施</li> <li>・事務事業における環境負荷の把握</li> <li>・各部署の環境への取組状況の把握</li> <li>・情報収集及び各部署への情報提供</li> </ul>

### 活動組織

職名	主な責任と役割
エコアップマネージャー （各部署の課長級1名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部内の環境経営システムの運用、環境マネジメントの推進</li> <li>・部内の取組状況の点検、評価、問題点の指摘</li> <li>・部内の環境方針の策定</li> <li>・内部環境監査の実施</li> </ul>
エコアップリーダー （各課の係長級1名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課内の環境経営システムの運用、環境マネジメントの推進</li> <li>・課独自の環境目標、環境取組の設定</li> <li>・課内の取組状況の点検、評価、問題点の改善</li> </ul>
エコアップ推進員 （各課1名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課内の環境マネジメントの推進</li> <li>・課内の取組状況の把握、報告、問題点の改善</li> </ul>
全職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの実施体制及び自らの役割を理解</li> <li>・環境取組の実施、取組状況の確認、問題点の改善</li> </ul>

## (3) エコアクション21の取組の対象範囲

総合病院及び指定管理施設を除く全ての公共施設において、エコアクション21のマネジメントを実施し、より効率的・効果的な環境負荷の軽減に努める。

総合病院については、エコアクション21の認証取得を目指すとともに、指定管理施設に対しては環境負荷軽減の取組への協力を求める。

## 4 環境に関する現状と課題

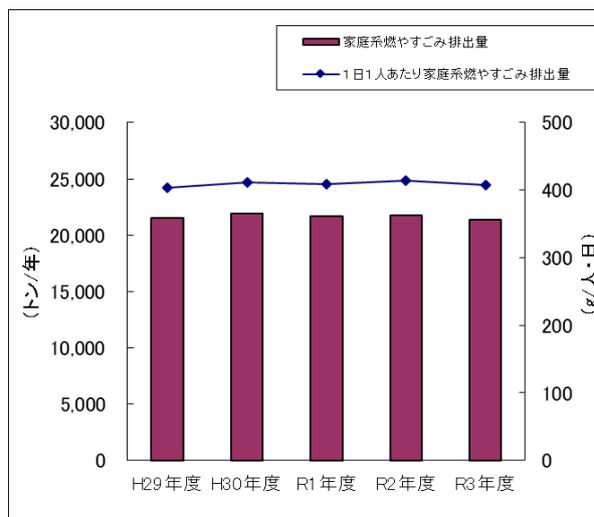
### (1) ごみ収集処理

本市では、1985(昭和 60)年度から天ぷら廃油、1990(平成 2)年度から紙類、2003(平成 15)年度から木くず・剪定枝、さらに 2005(平成 17)年度から容器包装プラスチック類の分別を開始するなど燃やすごみの減量、資源化に努めてきました。

また、これまでも家庭系燃やすごみの約 5 割(湿重量ベース)を占める生ごみの減量・資源化への取組として、生ごみ処理機等購入に対する補助事業を実施していましたが、

2010(平成 22)年度に白藤地区をモデル地区として実施した家庭系生ごみの分別回収・堆肥化の実証事業を踏まえ、2011(平成 23)年度からは一部地域で、家庭からの生ごみの分別回収をスタートさせました。2021(令和 3)年度は約 20,000 世帯に拡大しました。

併せて、ごみの削減には市民一人ひとりの意識の向上が大切なことから、2010(平成 22)年度から出前講座や、地域ごとにごみ減量説明会を実施しています。



家庭系燃やすごみ排出量の推移

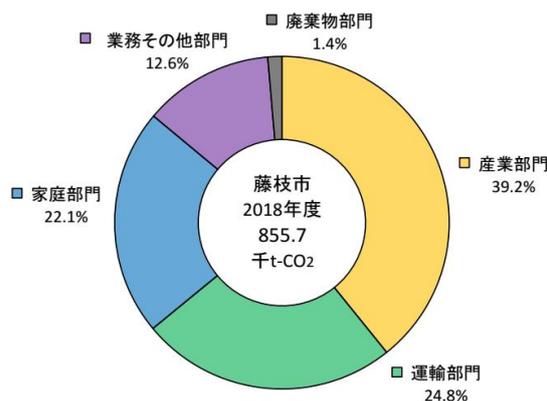
### (2) 地球温暖化対策

本市における 2018(平成 30)年度の温室効果ガス排出量は、二酸化炭素に換算して約 90.9 万トンであり、前年度対比 0.5%の増加となりました。

ガス種類	2013年度 基準年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2018年度増加率	
							基準年度	前年度
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	888.0	891.9	860.4	867.2	848.0	855.7	-3.6%	0.9%
メタン(CH <sub>4</sub> )	15.1	13.4	12.3	12.7	12.5	11.7	-22.8%	-6.7%
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	8.9	9.1	8.2	8.0	8.1	8.3	-6.0%	3.3%
ハイドロフルオロカーボン(HFCs)	24.4	27.3	30.0	33.3	34.9	32.7	34.3%	-6.3%
パーフルオロカーボン(PFCs)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	0.63	0.60	0.6	0.6	0.61	0.58	-8.5%	-6.0%
三ふっ化窒素(NF <sub>3</sub> )	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
温室効果ガス計	937.0	942.4	911.5	921.9	904.1	908.9	-3.0%	0.5%
<比較>全国	1,408,191	1,358,818	1,320,728	1,304,026	1,290,671	1,247,127	-11.4%	-3.4%

藤枝市における温室効果ガス排出量の推移(単位:千 t-CO<sub>2</sub>)

また、温室効果ガスの種類別シェアで最も大きい二酸化炭素の排出割合を部門別にみると、産業部門が39.2%と最も多く、次いで運輸部門24.8%、家庭部門22.1%、業務その他部門12.6%となっています。



藤枝市の二酸化炭素排出の部門別シェア

また、市民一人あたりの年間排出量は5.9トンです。今後、新エネルギー及び省エネルギー機器・設備の導入促進など、ハード面でのCO2削減対策とあわせ、“もったいない”運動の更なる推進により、家庭や地域等における省エネ意識を一層高め、ライフスタイルやビジネススタイルの転換を促進していきます。

	2013年度 基準年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2018年度増加率	
							基準年度	前年度
藤枝市	6.1	6.1	5.9	5.9	5.8	5.9	-2.9%	1.3%
静岡県	8.3	8.0	7.7	7.6	7.6	7.5	-9.9%	-1.8%
全国	10.3	9.9	9.6	9.5	9.4	9.0	-12.9%	-4.2%

藤枝市における一人当たりの二酸化炭素排出量の推移（単位：t-CO2）

### (3) 自然環境の保全

本市の森林面積は約9,223haで、市域の約47.5%を占めています。森林が有する多面的機能には、生物多様性保全、水源かん養、土砂災害防止機能など、8つの機能があるとされています。そのため、これら森林の育成・保全等を適切に実施していくことが重要ですが、後継者や担い手不足により、耕作放棄地や放置竹林の増大、森林荒廃など自然環境の悪化が進み、これらの対応が課題となっています。森林組合と連携し、後継者や担い手不足の育成、適切な間伐などを実施していますが、近年ではNPOなど市民団体による森林整備や若竹刈り体験など、多様な主体による森林保全活動の動きも見られます。



市民参加の若竹刈りイベント

また、水環境をみると、2018(平成30)年に市内33地点で実施した水生生物調査では、前回調査時(2015(平成27)年)より水質状況が良くなった地点が3地点あり、特に瀬戸川、朝比奈川の上流部は「きれいな水」の判定が多い結果となりました。調査結果では、上流部は人為的な影響が少ないことから、自然状態を保持した河川環境により生物多様性が保持されていますが、下流部では人為的影響が大きく、コンクリート三面張りなどで環境が単調となり、生物多様性が低くなっていると考えられます。

#### (4) 環境教育の充実

市民一人ひとりが藤枝市のみならず地球環境を将来にわたって、守り、育み、さらに継承するために、環境の大切さに「気付き」、「学び」、そして「行動」をするため、子供から高齢者までを対象に、各地区交流センター事業と連携して様々な環境教育講座を開催しました。また、体験学習を通して地球温暖化について学び、クールチョイスに賛同して環境行動を考える「アース・キッズ事業」、自主的な環境活動の実施を促す「こどもエコクラブ」事業や、地域で環境活動のリーダーとなる人材を育成する「エコマイスター育成」事業などに取り組んでいます。

「日本一の環境行動都市」の実現に向け、環境行動に取り組む上で中心となる人材の育成、環境に関する情報発信の充実などが課題となっています。



地区交流センターが主催する  
水生生物観察教室

## 第2章 藤枝市の環境への取組

### 1 取組の概況

本市では、地球温暖化やエネルギー資源の枯渇、自然破壊や種の絶滅などの生物多様性の危機といった地球規模での問題に市民総ぐるみで取り組むための契機として、2009(平成21)年12月、「もったいない」都市宣言を行いました。

2016(平成28)年度からは、「もったいない」を実践する環境行動都市・ふじえだ」を目指す環境像として、市民・事業者・行政が互いに協働し、人のチカラを結集した『日本一の環境行動都市ふじえだ』の実現に向けて「藤枝市環境基本計画後期計画」を新たにスタートさせ、各施策に取り組んでいます。

また、2012(平成24)年度からは、「藤枝市地域エネルギービジョン」において、地域特性を活かしたエネルギーの創造と有効活用を推進し、新エネルギーと省エネルギーを効果的に組み合わせた、環境にやさしい持続可能な街づくりに取り組んでいます。

こうした施策を通して、環境問題に市民誰もが「気づき」、「学び」、そして「行動」する『環境日本一のまち』の実現に努めています。

また、地球温暖化対策として、市役所の事務事業により排出される温室効果ガスの削減に向けた行動計画である「藤枝市役所地球温暖化防止実行計画」も平成28年度から第4期の取組期間に入り、全庁的に取り組んでいます。

これらの計画の実効性を高めるため、2008(平成20)年3月に「エコアクション21」の認証を取得し、より効果的、効率的な取組みによる環境保全活動に取り組んでいます。

### 2 藤枝市もったいない運動

#### (1) “もったいない”都市宣言

本市では、環境と共生し、循環を基調とする「持続可能な発展」目指し、先人から引き継いだ恵まれた自然環境を、これまで以上に住みやすい状態にし、将来へ引き渡していくため、2009(平成21)年12月に「もったいない」都市宣言を行い、市民・事業者・行政が一体となって、環境問題に取り組むことを宣言しました。

この宣言のもと、本市では“もったいない”をキーワードとし、様々な環境施策を実施しています。



## (2) グリーンカーテンコンテスト

地球温暖化防止対策、省エネ行動に対する環境意識を高めていくため、気軽に取り組むことができ、省エネ効果が高い「グリーンカーテン」を始めるきっかけづくりとして、第7回目となるコンテストを実施しました。

### 【令和3年度実績】

- 募集期間：令和3年7月19日～9月21日
- 応募数：17件（家庭部門9件、団体部門8件）
- 家庭部門：最優秀賞1名、優秀賞4名
- 団体部門：最優秀賞1団体、優秀賞3団体



グリーンカーテンコンテストに応募された写真

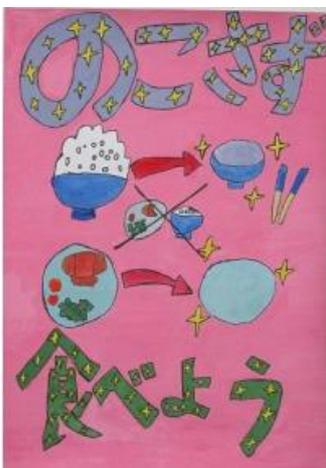
## (3) “もったいない”ポスターコンクール

物を大切にする「もったいない」の気持ちを改めて見つめ直すとともに、ごみの減量や環境に関する意識の向上を目的として、夏休みを利用して小学4年生から「もったいない」をテーマにしたポスターを募集しました。

入賞作品は、ごみ収集車3台の左右側面にポスターを拡大シールにして貼り付け、市民のみなさんに見ていただくことで、環境への意識を高めるきっかけづくりをしています。

### 【令和3年度実績】

- 応募総数：189点
- 入賞：10作品



大賞を受賞したポスター



入賞作品のシールが貼られたごみ収集車

#### (4) 藤枝市もったいない推進月間

毎年12月を本市独自の「もったいない推進月間」とし、市民・事業者・行政が一体となって、更なる環境保全活動に取り組み、環境行動都市を目指しています。特に第3金曜日は“もったいない”アクションデーとして、“もったいない”都市宣言に沿った取組を全市的に実践しました。

##### 《推進月間中の取組》

##### ◎市内小中学校「もったいないアクション宣言」

児童生徒が主体的に環境行動を実践する取組として、全ての小中学校で独自のエコ活動「もったいない」アクション宣言が実践されました。

##### 【令和3年度実績】

●参加数：10,724人

(27小中学校の児童生徒と教員など)

##### ●活動結果

- ・アルミ缶約49kgを回収
- ・ペットボトルキャップ約242kgを回収。
- ・古紙9kgを回収
- ・給食の食品ロス削減に挑戦した15校も目標をほぼ達成
- ・SDGs12「使う責任」の取組みとして、落とし物の数削減を達成



ペットボトルキャップの回収



空になった給食の食缶

##### ◎まち美化統一“もったいない”アクション

まち美化里親登録のみなさんが、各団体登録の場所の美化活動を重点的に実施しました。

##### 【令和3年度実績】

●活動参加者：25団体(624人)

●活動内容：落ち葉・ごみ拾い、花壇の植付、草刈り、石段づくり 等



ごみ拾いの様子

##### ◎もったいない市民のつどい

例年、市民の環境意識を高めることを目的に開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は集客イベントを中止とし、“もったいない”ポスターコンクール及びグリーンカーテンコンテストの表彰のみを実施しました。

●開催日：令和3年11月27日



表彰式の様子

### 3 藤枝市環境基本計画

藤枝市では、2015年（平成27）年度に「第2次藤枝市環境基本計画（後期計画）」（以下「第2次後期計画」という。）を策定し、「“もったいない”を実現する環境行動都市・ふじえだ」を目指す環境像として、環境行動日本一のまちを目指すためのあらゆる施策を展開してきました。

また、気候変動への適応やプラスチックごみ、食品ロスをはじめ、大きく変化している環境政策を取り巻く状況に対応するため、2021（令和3）年の3月に「第3次藤枝市環境基本計画」を策定し、市民・事業者・行政が協働しながら、今ある素晴らしい藤枝の環境を将来に引き継いでいくために、今後10年間の本市の環境像とその実現に向けた取組の方向性を示しました。

#### （1）基本理念

- ◎豊かな自然環境を育み、人やまちとの共生を図る
- ◎資源の循環的な利用を図り、持続可能な社会をつくる
- ◎市民、事業者、行政が互いに協力及び連携を図り、積極的に取り組む
- ◎地球環境の保全に対して、日常生活及び事業活動の中で配慮しつつ、積極的に推進する

#### （2）目指す将来像

「環境日本一のまち 未来に輝く 持続可能な環境行動都市・ふじえだ」  
～ “もったいない” で市民がつくる環境日本一のまち～

#### （3）基本目標

- 基本目標1 地球にやさしいまちづくり
- 基本目標2 ものが循環するまちづくり
- 基本目標3 自然とともに安心して暮らせるまちづくり
- 基本目標4 みんなで考え行動するまちづくり

#### （4）計画の期間

2021(令和3)年度から2030(令和12)年度の10年間とし、5年を目途に見直しを行います。

(5) 藤枝市環境基本計画の取組状況

◎方針（環境指標）別の達成状況及び市の取組について

令和3年度における環境指標別の達成状況は次のとおりです。

目標を達成している項目	◎	目標達成に向けて順調に推移している項目	○
目標達成への進捗が低い項目	△	目標達成が困難な項目	×

◎基本目標1 地球にやさしいまちづくり

○方針1 地球温暖化対策の推進 ～エネルギーを有効利用します～

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R3)	中間目標 (R7)	達成 状況
市域全体における温室効果ガス排出量	千 t-CO2	1,030.7 H28 排出量	908.9 H30 排出量	896.5 R4 排出量	○
<p>市域全体における温室効果ガス排出量については、目標に向けて順調に推移しています。</p> <p>今後も市民、事業者による再生可能エネルギーの導入と省エネルギー活動を推進するため、普及啓発や取組支援を実施していきます。</p>					

○方針2 地球環境を守る暮らしの実現 ～地球にやさしい暮らしを実現します～

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R3)	中間目標 (R7)	達成 状況
家庭からの1人1日当たりの二酸化炭素排出量	g-CO2	5,494.6 H28 排出量	5,275.2 H30 排出量	4,600.9 R4 排出量	△
<p>家庭からの1人1日当たりの二酸化炭素排出量については、減少していますが目標達成への進捗が低いです。これは、各家庭での温室効果ガスの削減が進んでいますが、国の温室効果ガス削減目標に届いていないためであり、取組による省エネだけではなく設備改修などが必要だと考えられます。</p> <p>今後は環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」等と協調した普及啓発を行うとともに、各家庭の省エネへ向けた設備導入や改修の支援を実施することで温室効果ガスの削減に努めます。</p>					

◎基本目標2 ものが循環するまちづくり

○方針3 資源の有効利用 ～循環型の社会をつくります～

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R3)	中間目標 (R7)	達成 状況
ごみの1人1日当たりの排出量	g	690.1 H30 排出量	687.2 R2 排出量	682.8 R6 排出量	○
<p>1人1日当たりのごみ排出量については、目標に向けて順調に推移しています。令和2年度の人口10万人以上50万人未満の地方自治体における1人1日当たりのごみ排出量では、全国6番目に少ない量であり、上位10位以内の地方自治体で唯一ごみ袋の有料化を実施していません。</p> <p>引き続き、市民へのごみの減量及び分別の周知を進めるとともに、生ごみの資源化及び硬質プラスチックの分別回収を進めるなど、ごみの減量推進を図っていきます。</p>					

◎基本目標3 自然とともに安心して暮らせるまちづくり

○方針4 身近な自然環境の保全 ～豊かな自然の恵みを楽しみ、継承します～

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R3)	中間目標 (R7)	達成 状況
緑化推進への年間取組件数	件	494	710	550	◎
<p>緑化推進への年間取組件数については、目標を達成しています。これは、新たに花の球根や種子の配布を推進したことにより増加したためです。</p> <p>今後も緑化支援、緑化木や花の球根、種子の配布、コンテストの開催など、緑化を推進していきます。</p>					

○方針5 快適な生活環境の確保 ～健康で安心な暮らしを守ります～

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R3)	中間目標 (R7)	達成 状況
水質汚濁に係る環境基準達成率	%	71.4	85.7	85.7	◎
<p>水質汚濁に係る環境基準達成率については、目標を達成しています。</p> <p>今後も河川の水質測定による監視や事業者への指導等により、継続して基準達成を目指していきます。</p>					

◎基本目標4 みんなで考え行動するまちづくり

○方針6 環境教育の推進 ～年代を問わず環境人材を育成します～

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R3)	中間目標 (R7)	達成 状況
環境学習講座の年間参加者の割合	%	1.8	0.9	1.9	△
<p>環境学習講座の年間参加者の割合については、目標達成への進捗が低いです。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座開催が出来なかったためです。</p> <p>今後は、従来通りの対面で講座を開催することにより普及啓発を実施するほか、新しい生活様式に合わせた Web 講座や動画配信による講座開催を検討していきます。</p>					

○方針7 協働の推進 ～環境保全活動の輪を広げます～

環境指標名	単位	計画当初 (R1)	現状 (R3)	中間目標 (R7)	達成 状況
環境保全活動の年間参加者の割合	%	10.5	10.3	10.8	△
<p>環境保全活動の年間参加者の割合については、目標達成への進捗が低いです。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントや行事が開催出来なかったためです。</p> <p>今後も環境保全活動の情報発信及び普及啓発に努めていきます。</p>					

(6) 令和3年度から新たに実施した主な取組

◎ごみ戸別回収ルート最適化実証実験の実施

ごみ出しが困難な高齢者等を対象に実施している「ごみの戸別回収」について、回収頻度や当日の不要連絡に応じた回収ルートの自動作成システムの実証実験を行いました。

今回の実証実験で課題を抽出、修正を行うことで、回収ルートの作成の自動化だけでなく、リアルタイムの情報共有やそれに伴うルート変更、日報、月報作成など、業務への適用可能なレベルとなりました。今後、令和4年度中の実用化を目指して更なる調整を行います。



戸別収集の様子

### ◎小学生向け食品ロス削減啓発冊子の作成

コロナ禍で講座やイベントが開催しづらいため、食品ロスの削減を啓発する目的で、環境学習を実施する小学4年生を対象とした食品ロス削減の啓発冊子を作成し、市内小学4年生全員へ配布しました。

家族と共に読むことを想定して、冷蔵庫の使い方などの家庭でできる食品ロス削減の取組を記載することで、世帯単位の食品ロスの削減効果が期待されます。



食ロス削減啓発冊子

### ◎東海ガスとゼロカーボンシティの実現に関する連携協定の締結

令和3年8月4日に東海ガス(株)とゼロカーボンシティの実現に向けて、公共施設などの脱炭素化やエネルギーの地産地消などを柱とする連携協定を締結しました。

8月13日からは、庁舎南館に温室効果ガス排出量を実質ゼロとみなすカーボンニュートラルガスの供給を開始しました。カーボンニュートラルガスは、温室効果ガス排出量を再生可能エネルギーの創出や省エネ活動への寄付で相殺するカーボンオフセットの仕組みを使い、温室効果ガスが発生しないとみなすことができます。



連携協定締結式の様子

### ◎一般廃棄物処理基本計画の改定

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、焼津市及び志太広域事務組合と共同で、2市で発生する一般廃棄物（ごみ、生活排水）を計画的に処理するための基本的な方針を示した「一般廃棄物処理基本計画」を令和4年3月に改定しました。

今回の改定では、6Rの視点を取り入れた基本方針の見直し、現状を踏まえた施策内容の強化を行い、中間目標年次の令和8年度までに、1人1日当たりの家庭系燃やすごみ排出量について377gまでの削減を目指します。

## 4 藤枝市地域エネルギービジョン

エネルギー問題と地球温暖化問題という、深く関わりあうこの二つの問題に立ち向かうためには、エネルギーを使用する立場にある市民や事業者が、地域におけるエネルギーの使い方について真剣に考え、地域特性や生活実態に合わせて、自らが環境行動として実践していく必要があります。

藤枝市では、この問題に地域として対処するため、「藤枝市地域エネルギービジョン」を策定し、市民、事業者、行政が協力し、本市の地域資源を活かした新エネルギー導入促進と省エネルギーの推進を図ります。

### (1) 基本理念

～市民による地域エネルギーの創造と有効活用～

“もったいない”をキーワードとした持続可能なまちづくり

### (2) 基本方針と推進の方向

◎新エネルギーの掘り起こしと利用拡大

⇒太陽エネルギーの利用促進、バイオマス資源の活用促進

◎多様なエネルギーの利用促進

⇒利用エネルギーの分散、エネルギー高度利用技術の活用

◎省エネルギー生活の更なる推進

⇒省エネルギー型ライフスタイルへの転換、省エネルギー機器・設備の導入促進

### (3) 目標

2008(平成20)年度と比較し、エネルギー消費量を20%削減することを目指します。

### (4) 計画の期間

2012(平成24)年度から2021(令和3)年度の10年間とし、5年を目途に見直しを行います。

## (5) 藤枝市地域エネルギービジョンの取組状況

### ○藤枝市地域エネルギービジョン目標

#### ◎エネルギー消費量

	産業	運輸	家庭	業務その他	合計
当初 (H20)	3,160.3	3,417.3	2,279.8	1,014.7	9,872.0
目標値	2,686.3	2,904.7	1,937.8	862.5	8,391.2
目標値 (H20 比)	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
前年度 (H29)	3,572.8	3,157.9	2,104.9	1,045.0	9,880.4
前年度 (H20 比)	113.1%	92.4%	92.3%	103.0%	100.1%
現状 (H30)	4,001.5	3,125.0	1,985.4	1,051.7	10,163.6
現状 (H20 比)	126.6%	91.4%	87.1%	103.6%	103.0%

※単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合あり

※目標年度は R3 だが、算出に利用している統計データが H30 までであるため、現状には H30 の値を記載

基準年度と比べると全体で3%の増加となり、目標は達成していません。特に産業部門の増加が著しいですが、これは市内企業の増加や規模拡大によるものです。また、家庭部門については、省エネ機器の普及等により順調に減少しています。

今後は、企業向けの省エネ設備の導入支援等を検討し、産業部門を中心とした省エネルギー化を推進します。

#### ◎新エネルギー（太陽光発電）によるエネルギー削減量

	エネルギー削減量 (TJ)	【参考】最大電力 (kW)
当初 (H20)	30.4	2,900
当初 (H20 エネルギー消費量比)	0.31%	
目標値	493.6	58,500
目標値 (H20 エネルギー消費量比)	5.00%	
前年度 (R2)	613.1	61,000
前年度 (H20 エネルギー消費量比)	6.21%	
現状 (R3)	639.3	61,000
現状 (H20 エネルギー消費量比)	6.48%	

基準年度と比べると 608.9TJ 増加しており、目標を達成しています。今後も各家庭や企業に対し、再生可能エネルギー設備の導入を推進していきます。

◎その他の事業

目 標 項 目	平成26年度 現状	平成33年度 目標	令和3年度 実績
(1) 新エネルギープロジェクト			
市全体の電力消費量に対する太陽光発電受給電力 量の割合	3.37%	8.00%	5.91% (H30 時点)
① 太陽光発電設置フリー（0円）プラン			
市内の家屋における太陽光発電設備の設置 状況	4,524 件	9,786 件	7,601 件
太陽光発電施設最大出力（累計）	31,300kW	100,000kW	61,000kW
② 公共施設サンシャイン活用プラン			
公共施設における再生可能エネルギー設備 設置箇所数	9 箇所	32 箇所	23 箇所
〃 最大出力（累計）	921.3kW	1,600.0kW	1,453.0kW
蓄電池の設置箇所数	4 箇所	24 箇所	9 箇所
③ 我が家のエネルギーベストミックス促進プラン			
新エネルギー機器設置費補助金の延べ件数	169 件	500 件	422 件
④ 地球とからだにやさしい“ホッ！と”プラン			
バイオマス燃料利用施設数	1 箇所	5 箇所	2 箇所
⑤ 市民創電プラン			
浄化センターの消化ガス発電の事業化を進める（下水道課）			H29.11 事業開始
全世帯を対象とした家庭系生ごみ分別資源化処理の方法の1つとしてバイオ ガス化を検討する			R2 実証実験実施
事業系生ごみの分別資源化処理の方法の1つとしてバイオガス化を検討する			検討中
(2) まちづくりプロジェクト			
① スマートコミュニティプラン			
情報収集や関係企業との意見交換等により方向性の検討を行う（都市政策 課）			検討中
② まちなか“スマート・ライフ・シティ”プラン			
エネルギー自給自足型再開発ビル「スマートビル」建設の検討を行う（中心市 街地活性化推進室）			検討中
マンション等の高層建築においてエネルギーや環境問題への配慮を依頼する （都市政策課）			該当なし
③ ごみの焼却エネルギー活用プラン			
ごみ焼却に伴うエネルギーの有効活用や地球温暖化対策に配慮した施設整備 を図る			検討中

目 標 項 目	平成26年度 現状	平成33年度 目標	令和3年度 実績
(3) 啓発プロジェクト			
エコファミリー宣言世帯人数の市内全人口に対する割合	15.3%	25.0%	21.2%
① 「藤枝・日本一」4K マイレージプラン			
環境マイレージ年間利用者数	—	500人	577人
② エネルギー・環境学習プラザ“MOTTAINAI”プラン			
施設整備と併せてプランの実現を図る			検討中
③ グリーン電力活用プラン			
グリーン電力活用イベント数（累計）	24事業	60事業	62事業
グリーン電力の活用電力（累計）	11,350kWh	30,000kWh	25,097kWh
(4) その他の環境施策			
① LED化推進プラン			
LED化した公共施設数（施設所管課）	—	10施設	14施設
LED化した防犯灯の割合 （交通安全・地域安全課）	14.1%	60%	94.3%
② 施設等の省エネ化推進プラン			
省エネ改修が完了した公共施設数	—	5施設	6施設
省エネルギー住宅整備費補助金交付件数（累計） （旧：環境配慮型住宅改善費補助金）	—	300件	66件
エコチューニング実施事業所数 （エコチューニング推進センターより情報収集）	—	10事業所	1事業所
環境マネジメント取組み事業所数（累計）	70事業所	105事業所	83事業所
③ 環境配慮型車両普及・促進プラン			
次世代自動車充電インフラの設置箇所数	8箇所	12箇所	24箇所
公用車への環境配慮型車両の導入			
更新に合わせて環境配慮型車両の導入を進める（公用車所管課）			HV車2台、 EV車1台導入
次世代自動車等の導入促進			
市民や事業所が保有する自動車の次世代自動車並びに電動二輪車等への切り替え及び導入を促進する			チラシ等による 啓発を実施
④ 小水力発電普及・促進プラン			
小水力発電設備設置箇所数	—	1箇所	該当なし

# 第3章 事業所としての環境への取組

## 1 藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン

藤枝市は、行政機関であるとともに市内の大規模事業所のひとつとして、市内事業者の模範となるべく自ら率先して環境活動に取り組んでいます。

脱炭素の取組としては、2001年度から地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「地球温暖化対策推進法」という。）に基づく、地方公共団体実行計画（事務事業編）を策定し、温室効果ガスの削減を推進するとともに、エネルギーの使用の合理化に関する法律（以下「省エネ法」という。）に基づく特定事業者として、年平均1%以上のエネルギー消費原単位の削減に努めています。

また、その他の環境負荷低減の取組として、2008年度から市役所本庁舎を対象として、環境マネジメントシステム（エコアクション21）の認証を取得し、2012年度からは総合病院を除いた全ての公共施設を対象として認証を取得し、廃棄物排出量、水使用量、エネルギー使用量の削減及び環境関連法規の遵守に努めています。

これらの取組は、それぞれに密接な関わりを持つことから、より一体的かつ計画的に進めるため、2015年度からは「藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン」として、地方公共団体実行計画（事務事業編）を含めて、環境負荷の低減を図るとともに環境関連法規の遵守に努めることとしています。

### (1) 計画の概要

藤枝市の事務事業から発生する温室効果ガス排出量、エネルギー消費量、廃棄物排出量、水使用量の削減を図るなど、行政が率先して環境負荷低減対策を推進し、市内事業者や市民の環境保全に向けた主体的な取組を促進することを目的としています。

### (2) 目標達成に向けた取組

#### ◎エコアクション21による環境マネジメントの展開

総合病院及び指定管理施設を除く全ての公共施設において、エコアクション21のマネジメントを実施し、より効率的・効果的な環境負荷の軽減に努めます。

総合病院についてはエコアクション21の認証取得を目指すとともに、指定管理施設については本計画に準じて環境負荷軽減の取組への協力を求めます。

#### ◎公共施設の戦略的な省エネルギー化の推進

##### ○段階を踏んだ省エネルギー化の推進

エネルギー使用設備は運転マニュアルに基づき、運転管理、機器調整、改修・更新等の段階を踏んだ省エネルギー化を推進します。

##### ○公共施設マネジメントに即した計画的な設備改修

設備機器は適切な維持管理により長寿命化に努めます。設備更新は公共施設総合管理計画と連携して適切な時期に実施します。

設備更新時には、国県補助金の活用及びリース事業、ESCO 事業等の導入を検討し、初期投資を最小限に抑えた上で、戦略的予算等を活用して設備機器の改修を計画的に実施します。

### ◎DXの推進に基づく環境負荷の低減

市民・まち・市役所の各分野へデジタル技術の活用を浸透させることにより、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、物理的制約を超えた新たな価値やサービスを生み出し、脱炭素化や省エネルギー化、省資源化の実現を目指します。

本市の事務事業においてはデジタル技術を活用し、テレワークやペーパーレス化、行政手続のオンライン化の推進等により、環境負荷の低減、資源生産性の向上を図るとともに、地域の環境負荷について ICT を活用したデータ収集とオープンデータ化の推進により、環境面での効果を“見える化”します。また、地元企業等への地域 DX の促進支援により、地域で一体となった環境負荷の低減に努めます。

### ◎個別取組の継続と推進

本市の事務事業からの環境負荷を低減させるための取組を【グリーンオフィス】、地球の環境保全・創造に向けた取組を【グリーンプロジェクト】と区分し、削減目標の達成に向けて、各部署においてそれぞれ取組を継続して実践します。

また、通勤時に公共交通機関、徒歩、自転車の利用に努めるエコ通勤やライトダウンなど、温室効果ガス削減を目指す個別の取組については、職員の個々の状況に応じて実施します。エコ通勤については、公共交通利用推進等マネジメント協議会により、「エコ通勤優良事業所」として認証されています。

#### 【グリーンオフィス】

##### 環境負荷低減の取組

- 電気使用量の削減 ●エネルギー消費量の削減
- 公用車の燃料使用量の削減 ●水使用量の削減
- 紙使用量の削減

##### 資源循環の取組

- 廃棄物の発生抑制 ●再使用・リサイクルの推進

##### 事業実施における取組

- 事務事業全般に係る環境配慮
- グリーン購入・契約の推進
- 環境に配慮した設計・施工
- 建設工事に伴う廃棄物の資源循環
- 環境に配慮したイベント ●外部への要請

##### 環境マネジメントによる取組

- 施設・設備等の管理 ●環境経営の推進
- 環境法令遵守

#### 【グリーンプロジェクト】

##### 脱炭素社会に向けた取組

- 地球温暖化対策の推進・普及啓発
- 地球温暖化への適応の推進

##### 循環型社会に向けた取組

- 資源循環の推進
- ごみの減量、適正処理

##### 自然共生社会に向けた取組

- 緑化推進 ●環境保全

### (3) 目標

#### ◎温室効果ガス削減目標

本市の事務事業に伴う温室効果ガス総排出量を、2030(令和12)年度までに、2013(平成25)年度比で50%以上削減します。

2013年度	2025年度	2030年度
基準値	中間目標値	目標値
20,108.2 t-CO2	15,081.2 t-CO2	10,054.1 t-CO2

#### ◎エネルギー消費量削減目標

本市の事務事業に伴うエネルギー消費量(原油換算)を、2030(令和12)年度までに、2020(令和2)年度比で10%以上削減します。

2020年度	2025年度	2030年度
基準値	中間目標値	目標値
9,424 kl	8,952 kl	8,481 kl

#### ◎廃棄物排出量削減目標

本市の事務事業に伴う廃棄物(燃やすごみ、プラスチック、新聞紙、新聞紙以外の紙類、資源・不燃ごみ)排出量を、2030(令和12)年度までに、2020(令和2)年度比で10%以上削減します。

2020年度	2025年度	2030年度
基準値	中間目標値	目標値
622,335 kg	591,218 kg	560,102 kg

#### ◎水使用量、コピー枚数及び用紙購入量削減目標

本市の事務事業に伴う水使用量、コピー枚数及び用紙購入量を、2030(令和12)年度までに、2020(令和2)年度比で10%以上削減します。

区分	2020年度	2025年度	2030年度
	基準値	中間目標値	目標値
水使用量	342,649 m <sup>3</sup>	325,516 m <sup>3</sup>	308,384 m <sup>3</sup>
コピー枚数	10,746,864 枚	10,209,520 枚	9,672,177 枚
用紙購入量	31,674,003 枚	30,090,302 枚	28,506,602 枚

### (4) 計画の期間

2021(令和3)年度から2030(令和12)年度までの10年間とし、5年程度を目途に見直しを行います。

(5) 藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプランの取組状況

※以下の取組状況には、総合病院及び指定管理施設も含めた数値が記載されています。

◎温室効果ガスの総排出量(CO2換算)

○種類別排出量(CO2換算、単位：t-CO2)

年度	CO2 二酸化炭素	CH4 メタン	N2O 一酸化二窒素	HFC ハイドロフルオロカーボン	総排出量
H25	19,575.9	171.4	357.6	3.4	20,108.2
R2	17,732.6	193.7	405.5	3.5	18,335.4
R3	16,865.4	187.6	391.9	3.6	17,448.5
対H25比	86.2%	109.5%	109.6%	105.9%	86.8%

○排出源別排出量(CO2換算、単位：t-CO2)

年度	電気	都市ガス プロパンガス	その他燃料	公用車	下水処理	総排出量
H25	14,932.3	2,931.3	1,319.6	410.8	514.3	20,108.2
R2	12,954.6	3,522.5	920.2	352.5	585.6	18,335.4
R3	11,978.8	3,650.4	921.6	331.9	565.8	17,448.5
対H25比	80.2%	124.5%	69.8%	80.8%	110.0%	86.8%

○部門別排出量(CO2換算、単位：t-CO2)

年度	一般事務	上水道	下水道	消防団	学校	病院	指定管理	総排出量
H25	3,863.6	3,008.6	2,590.4	13.1	1,390.5	6,732.0	2,509.9	20,108.2
R2	3,351.5	2,566.7	2,398.5	10.0	1,692.7	6,149.2	2,166.8	18,335.4
R3	3,141.1	2,264.8	2,257.3	9.6	1,419.3	6,183.0	2,173.4	17,448.5
対H25比	81.3%	75.3%	87.1%	73.3%	102.1%	91.8%	86.6%	86.8%

※上記3表は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合あり

平成25年度比で13.2%削減することができました。排出源別排出量を見ると、電気使用による排出量が、19.8%減少しており、施設のLED化等による消費電力の削減や、電力自由化による電気契約先の変更により、本庁舎や地区交流センターへよりCO2排出量の少ない発電方法により得られた電気が供給されるようになったことが主な要因と考えられます。

今後も、電力契約の見直しの際には、契約条件にCO2排出量を含めることを検討するとともに、計画的な省エネ改修等を進め、不要な照明の消灯や空調の設定温度管理など、職員に対する節電の推進を徹底し、電力消費量の削減に努めます。

### ◎エネルギー使用量(原油換算)

年度	エネルギー使用量 (原油換算) (kl)			
	市長部局	教育委員会	総合病院	合計
R2	4,480	1,439	3,505	9,424
R3	4,628	1,447	3,663	9,738
対 R2 比	103.3%	100.6%	104.5%	103.3%

令和2年度比で3.3%増加していますが、エネルギー使用量については、電気由来とするものが最も多いため、増加の主な要因は、電力使用に係るものと考えられます。

今後も職員に対する節電の推進を徹底するとともに、エネルギー効率を維持するためのメンテナンスや計画的な省エネ改修等を進めることが必要である。また、空調等の設備を新設・更新した施設等に対しては、新設の設備についての運用基準を設け、省エネを考慮した設備運用に努めてもらうよう改めて推進する必要があります。

### ◎廃棄物排出量

年度	可燃ごみ (kg)	廃プラスチック (kg)	新聞紙 (kg)	新聞紙以外の紙類 (kg)	資源・不燃ごみ (kg)	合計 (kg)
R2	277,507.2	76,471.2	9,083.8	107,030.6	152,242.4	622,335.2
R3	303,312.0	80,192.1	9,377.5	117,861.1	164,395.9	675,138.6
対 R2 比	109.3%	104.9%	103.2%	110.1%	108.0%	108.3%

令和2年度比で8.3%増加しています。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症が徐々に縮小し始めたことにより、公共施設や指定管理施設等の利用者が増加したことであると考えられます。

今後は、廃棄物の削減を図るため、庁内への通知等により、各部署での分別や再利用を推進するとともに、私物ごみの持ち帰りを徹底します。

◎水使用量、コピー枚数及び用紙購入量削減目標

年度	水使用量(m <sup>3</sup> )	コピー枚数(枚)	用紙購入量(枚)
R2	342,649	10,746,864	31,674,003
R3	338,595	9,907,268	31,587,642
対 R2 比	98.8%	92.2%	99.7%

水使用量は、令和2年度比で1.2%減少しています。主な要因としては、施設改修により一部公共施設において長期休館していたことや、「駅南公園」において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏場の噴水を停止したことに水道使用量が減少したためであると考えられます。

今後も引き続き、各施設等における節水を徹底し、施設利用者に対しても啓発することで、水使用量の削減に努めます。

コピー枚数は、令和2年度比で7.8%減少しています。主な要因としては、組織全体でペーパーレス化の推進に努めたことにより、本庁舎に設置されている共同コピー機でのコピー枚数が削減されたためであると考えられます。また、学校では、学校だより等の保護者向けの連絡をメール配信に切り替えたことや、職員会議をPC上の資料を見ながら実施するなどの取組を行われています。

用紙購入量は、令和2年度比で0.3%減少していますが、これは誤差の範囲だと考えます。

今後も、公文書の電子化やスキャナー等の読取機器の導入を推進し、文書のデータ化により紙資源の消費削減に努めます。

## 2 エコアクション21 職員の環境行動指針 10 箇条

職員として取り組むべき基本的な項目を「エコアクション21 職員の環境行動指針 10 箇条」として挙げ、全職員で取り組んでいます。

### 1. 課内・廊下・会議室等における昼休み・終業時の消灯

廊下・課内の照明は、昼休み・終業時には部分点灯とします。

### 2. パソコンの不使用时の電源オフ

長時間の離席時や昼休み等の不使用时には、各自電源を切り、退庁時にはコンセントを抜きます。

### 3. アイドリングストップの徹底

「エコドライブ10のすすめ」を実践します。

### 4. ワーク・ライフ・バランスの推進

週1回以上の時間外ゼロデーおよび@ホームの日における定時退庁の徹底により、CO2の削減に努めます。

### 5. ノーカーデーの実践

月1回のノーカーデーとエコ通勤を実践します。

### 6. 事務用品の有効利用の実施

ファイルや封筒など極力再利用に努め、不用品が発生したときはスターオフィスを利用し他の部署に譲るなどし、安易に廃棄しません。

### 7. 用紙の3Rの実践

会議資料等の簡素化、ファイリングシステムの遵守により用紙の発生抑制に努めます。また、裏面活用、廃棄時の分別を徹底します。

### 8. 自動ドア・エレベーター使用制限

エレベーターを使用せず階段を利用します。ロビーの出入り口の自動ドアは使用せず、手動扉を使用します。

### 9. 環境配慮物品の購入(グリーン購入)の推進

環境に配慮した物品(エコマークのついた物品)を購入します。

### 10. 過剰包装の抑制

物品購入時の過剰包装等を断り、廃棄物を削減します。

☆小中学校では、4と8を除くか8箇条を環境行動指針として実践しました。

### 3 令和3年度の各部における主な環境取組

職員の環境行動指針に掲げた項目に準じ、各部で環境方針を定め、環境に配慮した取組を実践しました。また、指針に掲げた項目以外にも、本来業務に伴う環境負荷を軽減するための取組を実践しました。

#### ◎総務部

～事務事業の環境負荷・低減に取り組みます～

契約検査課	<p>&lt;環境配慮を加点対象とした入札の実施&gt;</p> <p>総合評価落札方式により、ISO14001 又はエコアクション21の認定取得事業所であることを加点対象とした入札を年23件実施し、建設業者等による環境への配慮を促進しました。</p>
大規模災害対策課	<p>&lt;期限切れ直前の備蓄食料の有効活用&gt;</p> <p>賞味期限が切れる直前の備蓄食料（アルファ米121箱、缶入り保存パン370箱）を自主防災会等に配布し、炊き出し訓練等に活用していただきました。</p>

#### ◎企画創生部

～デジタル活用などによる環境に配慮した施策・事務事業を推進します～

広域連携課	<p>&lt;スケジュール管理アプリの活用&gt;</p> <p>スケジュール管理アプリを使用することで、スケジュール共有を目的とした週1回の課内会議を廃止し、紙媒体の資料を削減し、ペーパーレス化を図りました。</p>
情報デジタル推進課	<p>&lt;電子申請の推進&gt;</p> <p>市民がインターネットを利用して各種申請ができるよう利用促進を図り、年間で約1,400件以上の電子申請を受け付け、用紙の削減等の環境負荷低減に努めました。</p>

#### ◎財政経営部

～環境に配慮した財政運営と資産管理を推進します～

財政課	<p>&lt;予算事務に係る資料の削減&gt;</p> <p>各部署へ当初予算や補正予算に伴う資料の作成を依頼する際に、両面または2in1を基本とし作成するよう周知徹底をすることで、用紙の削減に努めました。</p>
資産管理課	<p>&lt;クールビズ、ウォームビズの推進&gt;</p> <p>クールビズ(5月～9月)、ウォームビズ(12月～2月)を推進し、適正な冷暖房の温度管理を実施し、ピーク電力を削減しました。(H22比でクールビズ期間166kw、ウォームビズ期間107kw減)</p>

## ◎市民協働部

～市民参加の事業を通じて、市民とともに環境保全の施策の推進を図るとともに、部内各施設においても、環境に関する取り組みを最優先した管理を推進します～

交通安全・ 地域安全課	<防犯灯のLED化推進> 防犯灯のLED化を推進し、年間で210灯のLED化を行いました。また、自治会・町内会にLED化による環境負荷軽減効果を説明し、その重要性を啓発しました。
市民課	<証明書発行に係る書類の削減> マイナンバーカード交付時における身分証明書コピーを廃止し、用紙の削減を図りました。

## ◎スポーツ文化観光部

スポーツ振興課	<夜間開催会議の時間短縮> 夜間開催のスポーツ推進委員会等の各種会議において、終了時刻を遅くとも20時45分とし、そのことを会議の冒頭に出席者へ伝えることで、全員が意識し、効率的な会議となるとともに、エネルギー使用量の削減につながりました。
文化財課	<梱包資材の再利用> 郷土博物館・文学館にて、展示準備に伴い必要となる梱包材や消耗品をできる限り再利用し、廃棄物の削減に努めました。

## ◎健康福祉部

～市民が「安心して」「元気に」生活でき、幸せが実感できるまちづくりを目指して、藤枝“ならでは”の健康福祉施策においては、環境に配慮した事務・事業を推進します～

児童課	<使用済みポスター等の再利用> 各部署で使用済みとなったポスターや図面を回収し、保育園に裏紙として配布し、再利用に努めました。
健康企画課	<ふじえだ健康マイレージ Web 版の推進> ふじえだ健康マイレージ Web 版を活用し、登録者への情報発信を郵送ではなくメールで行うことで、約15,000人分の紙や封筒を削減しました。
前島保育園	<保護者への連絡にシステムを利用> 保護者への連絡のほとんどをアプリで行うことでペーパーレス化に努め、コピー用紙の使用枚数を、前年度から約3%減らすことができました。

### ◎産業振興部・農業委員会

～産業振興部として、環境に配慮した施策、事務事業を推進するとともに、産業、経済活動を行う全ての事業者等に対して、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル等と呼び掛け、「持続可能な発展」を実現するまちづくりに貢献します～

産業政策課 創業支援室	<中小企業に向けた各種制度周知のWEB化> これまで窓口にて配布していた支援制度一覧の紙媒体での作成を廃止し、EG支援センターのエフドアと連携して、PCやスマホから簡単に各機関の支援制度を検索できるようなサイトを改良し、ペーパーレス化に努めました。
農業委員会事務局	<農地の貸付による農地有効活用の促進> 事情により所有農地を耕作できない方に「貸したい農地登録」を推奨し、耕作面積拡大を希望する農業者に利用権設定をすることで、農地の有効活用とより良い環境の維持を図りました。

### ◎都市建設部

～環境に配慮した施策・事業を推進して自然と共存した魅力あるまちづくりを進めます～

花と緑の課	<緑化の普及啓発> 花壇・街路樹の植栽や緑化木の配布を行い、緑化木は年間で487団体へ配布した。また、緑の募金運動を推進し、年間で約320万円の募金を行いました
中心市街地活性化 推進課	<イルミネーションでのグリーン電力活用> 「ルミスタ☆ふじえだ～ファンタジックイルミネーション」にて、太陽光発電を由来とするグリーン電力(1,000kWh)を使用する等、環境に配慮したイベントの実施に努めました。

### ◎環境水道部

～「環境日本一のまち」を目指して、“もったいない”の精神に基づいた環境保全施策を推進し、次世代へ繋ぐ快適な生活環境を創造します！～

環境政策課	<エコアクション21の推進> 各部署の環境の取組や部内マネジメント等がより効率よく実施できるよう支援し、環境への取組への理解を各課に呼びかけることで、更なる環境負荷の低減を図りました。
生活環境課	<燃やすごみの減量の推進> 町内会単位でごみ減量・分別に関する説明会を開催し、資源ごみの分別を徹底することで、燃やすごみの減量を図り、燃やすごみの総排出量は前年度よりも465トン減少しました。

上水道課	<p>&lt;管路維持管理による無収・無効水量の改善&gt;</p> <p>給水管や排水管等の漏水調査や修繕等を適正に実施することで、無収・無効水量の削減に努め、年間で約 205 件の修繕を行い、漏水を防止しました。</p>
下水道課	<p>&lt;公共下水道の整備・接続促進&gt;</p> <p>公共下水道の整備、未接続者に対する接続促進活動等を通じ、市域の汚水処理普及率の向上、処理区域面積の拡張を行い、公共用水域汚濁負荷量の削減に努め、処理区域面積は年間で 5.1ha 増加しました。</p>

### ◎教育部（市役所）

～一人ひとりが環境に興味・関心を持ち、人と環境との関わりについて自ら考え、環境の保全に配慮した自主的な行動を実践できる人づくりを目指します～

教育政策課	<p>&lt;学校施設への省エネ、節水設備の導入&gt;</p> <p>青島東小学校、葉梨小学校、大洲小学校の和式便器 59 据を節水タイプの洋式便器に更新しました。</p>
駅南図書館 岡出山図書館 岡部図書館	<p>&lt;リサイクル市の開催&gt;</p> <p>除籍、または寄贈されたが受け入れできない書籍等を図書館の利用者に配布するリサイクル市を 11 月に開催し、雑誌を配布しました。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小）</p>

### ◎教育部（小中学校）

藤枝小学校	<p>&lt;学校や家庭のごみ減量に向けた取組や工夫&gt;</p> <p>市の分別表や市役所からの資料をもとに、家庭ごみの分別のあり方や今後自分たちがやらなければならないことなどについて考える学習を行いました。</p>
西益津小学校	<p>&lt;環境保全等に触れた授業の実施&gt;</p> <p>全学年で、生活科や理科の学習活動の中で植物を育て、観察し、自然にふれ合うことで環境教育への意識を高めました。</p>
青島小学校	<p>&lt;環境保護に触れた授業の実施&gt;</p> <p>春を見つけよう・虫を見つけよう等の自然とふれあう学習や、環境問題への取組の様子や概略を学ぶ学習を実施し、環境への意識の啓発、理解を深めました。</p>
葉梨小学校	<p>&lt;葉梨地区の豊かな自然について学ぶ授業の実施&gt;</p> <p>生活科や理科の学習で、季節ごとの自然に触れ合い、自然の変化を学びました。また、葉梨地区の探検に行き、地域の豊かな自然を感じることができました。</p>

高洲南小学校	<p>&lt;活動や体験を重視した学習の実施&gt;</p> <p>もったいないアクションデーを活用し、給食の残量を減らす取組を実施し、継続して減らしていこうとする気持ちを子どもたちにも持たせることができました。また、総合的な学習の時間でSDGsをテーマに調べ学習を行いました。</p>
青島北中学校	<p>&lt;緑あふれ環境に優しい学校づくり&gt;</p> <p>緑あふれ温かな雰囲気为学校にするため、環境福祉委員会を中心にプランターに球根を植え、毎日世話をして育てました。この活動を通じて、植物を育てることに興味を持ったり、自然環境の大切さを考えるきっかけとなっています。</p>
大洲中学校	<p>&lt;環境保全の観点でも扱うことのできる授業の実施&gt;</p> <p>理科の授業で微生物の役割が生態系を維持するために重要であることを学び、社会の授業で公害について扱う等、学習内容を環境保全の観点でも扱うことのできる内容に精選しました。</p>

### ◎出納室

～業務の効率化・合理化を図ることにより、環境負荷低減に向けた事務事業の推進に取り組めます～

出納室	<p>&lt;伝票処理業務への意識の向上&gt;</p> <p>伝票不備についての通知、各部局に財務会計の相談業務を担う会計リーダーの設置、外部講師による研修会の開催等により、伝票不備件数を削減し、業務削減による用紙、電気使用量の削減に努めました。</p>
-----	--

### ◎議会事務局

～環境に配慮した事務事業を推進します～

議会事務局	<p>&lt;議会資料のデータ配信&gt;</p> <p>7月に議員タブレットを更新し、データ容量の多い書類についてもデータ配信が可能となり、9月議会からは、議案集や議案説明資料等もデータ配信し、ペーパーレス議会を推進しました。</p>
-------	--

### ◎監査委員事務局

～地球環境問題対策を推進します。地球温暖化防止のため、温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進します～

監査委員事務局	<p>&lt;決算審査・定期監査での用紙削減&gt;</p> <p>決算審査・定期監査にて各課からの提出資料は紙1部とデータとし、事前のチェック・指導の徹底や、提出前チェックシートを作成することで、再提出による用紙廃棄のリスクを減らすよう努めました。</p>
---------	---

## 4 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、各事業活動において法令違反や事故、異常事態の発生は報告されておられません。なお関係当局より違反等の指摘はありません。

### ◎環境関連法規等一覧

#### ○エコアクション21で対象となるもの

種別	法令等名称	主な法規定内容	主に関係する課
国 (県)	大気汚染防止法 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばい煙発生施設(ボイラー等)の届出</li> <li>・排出するばい煙の排出基準の遵守、自主測定と記録</li> </ul>	特定施設所管課 生活環境課
国 (県)	水質汚濁防止法 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害物質や油等を貯蔵・使用する特定施設の届出</li> <li>・特定施設から排出される汚水、廃液の排出基準の遵守及び自主測定及び記録</li> </ul>	特定施設所管課 生活環境課
国 (市)	下水道法 (藤枝市下水道条例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道への排出基準の遵守</li> <li>・公共下水道の運営、下水道施設の維持、修繕</li> <li>・下水道からの放流水の水質検査、記録</li> </ul>	施設所管課 下水道課
国	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽の設置等の届出</li> <li>・浄化槽の適正管理</li> <li>・法定検査の実施</li> </ul>	浄化槽施設所管課 下水道課
国	土壌汚染対策法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害物質等を使用する特定施設跡地の土壌汚染調査</li> </ul>	特定施設所管課
国 (県)	騒音規制法 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音を発生する特定施設及び特定作業の届出</li> <li>・発生する騒音の規制基準の遵守</li> </ul>	特定施設所管課 工事担当課 生活環境課
国 (県)	振動規制法 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振動を発生する特定施設及び特定作業の届出</li> <li>・発生する振動の規制基準の遵守</li> <li>・地域の振動測定</li> </ul>	特定施設所管課 工事担当課 生活環境課
国	悪臭防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪臭を発生する物質を排出する特定施設の規制基準の遵守</li> <li>・地域の臭気測定</li> </ul>	特定施設所管課 生活環境課

国	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)	・ 特定化学物質の使用に関する届出	特定化学物質使用課
国	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (化管法)	・ 特定化学物質の排出管理	下水道課
国	ダイオキシン類対策特別措置法	・ ダイオキシン類を排出する特定施設の届出 ・ 排出するダイオキシン類の排出基準の遵守	特定施設所管課
国	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理のに関する特別措置法 (PCB特別措置法)	・ PCB廃棄物の適正管理	PCB廃棄物保有課
国	毒物及び劇物取締法 (毒劇法)	・ 毒物及び劇物の保管、排出等の規制基準の遵守	毒物、劇物保有課
国	消防法	・ 危険物の貯蔵、取扱の制限 ・ 貯蔵所設置等の許可 ・ 設備等の基準維持 ・ 危険物取扱者の選任	危険物取扱課
国	水銀による環境の汚染の防止に関する法律	・ 水銀使用製品の廃棄基準の遵守	水銀使用製品保有課
国	資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	・ 再生資源、部品の利用の推進 ・ 製品の長期利用の推進 ・ 資源の有効な利用の促進	全庁
国	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	・ 一般廃棄物処理計画の策定及び推進 ・ 事務事業から排出される一般廃棄物・産業廃棄物の適正処理	全庁 ※一般廃棄物処理計画の策定については環境政策課
国	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 (容器リサイクル法)	・ 容器包装廃棄物の適正処理 ・ 容器包装廃棄物の分別収集	全庁 ※分別収集については生活環境課
国	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・ 特定家庭用機器の長期間利用の推進 ・ 特定家電廃棄時の適正処分	特定家電使用課

国	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体等における現場で分別する義務</li> <li>・建設工事に係る資材の再資源化等の再資源化の促進</li> </ul>	工事担当課
国	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律 (食品リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品廃棄物発生抑制、減量及び再利用の推進</li> </ul>	学校給食課
国	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済み公用車のリサイクル及び適正処理</li> <li>・購入及び車検時のリサイクル料の支払い</li> </ul>	公用車所管課
国	エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー使用量を中長期的にみて年平均1%以上の削減</li> <li>・エネルギー使用状況の報告</li> <li>・管理員の選任</li> </ul>	環境政策課
国	地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化地方公共団体実行計画の策定、推進</li> <li>・市内の温室効果ガス排出抑制等のための施策の推進</li> <li>・温室効果ガス排出量の報告</li> </ul>	環境政策課
国	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定機器(業務用エアコン等)の簡易・定期点検の実施</li> <li>・登録事業者への廃棄委託</li> </ul>	特定機器所管課
国	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律 (建築物省エネ法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物のエネルギー性能向上に関する施策の実施</li> <li>・特定建築物の建築物エネルギー消費性能基準への適合</li> </ul>	施設所管課 建設工事担当課

○その他の環境関連法規

種別	法令等名称	主な法規定内容	主に関係する課
国	環境基本法	・環境施策全般の推進、実施	環境政策課
国	国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律 (環境配慮契約法)	・電力、自動車などの購入契約における温室効果ガス排出削減に配慮した契約の推進	環境政策課 契約検査課 資産管理課
国	環境情報の提供等の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律 (環境配慮促進法)	・環境配慮の状況の公表 ・環境に配慮した事業活動の促進のための施策の推進	環境政策課 生活環境課
国	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 (環境教育法)	・環境保全の意欲推進と環境教育の推進に関する施策の策定及び実施	環境政策課 生涯学習課 地区交流センター 小中学校
国	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法)	・環境負荷の低減に資する物品や役務の調達の推進	全庁
国	生物多様性基本法	・生物多様性の保全の推進	環境政策課
国	循環型社会形成推進基本法 (循環型社会基本法)	・循環資源の適正な措置 ・循環資源に関わる施策の策定及び実施	環境政策課 生活環境課
国	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	・使用済み小型電子機器等の分別収集 ・再資源化事業者への引渡し	生活環境課
国	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 (プラスチック資源循環法)	・プラスチック使用製品廃棄物の分別収集	生活環境課
県	静岡県環境基本条例	・環境施策全般の推進、実施	環境政策課
県	静岡県地球温暖化防止条例	・市内の温室効果ガス排出抑制等のための施策の推進	環境政策課
県	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・事務事業から排出される一般廃棄物・産業廃棄物の適正処理	全庁

県	静岡県地下水の採取に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・揚水設備の届出、取水基準の遵守</li> <li>・採水量の報告</li> </ul>	地下水利用施設所管課
市	藤枝市環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境施策全般の推進、実施</li> </ul>	環境政策課
市	藤枝市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業から排出される一般廃棄物・産業廃棄物の適正処理</li> </ul>	全庁
市	あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地確認</li> <li>・指導、勧告、命令</li> </ul>	生活環境課
市	藤枝市まちをきれいにする条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化、良好な生活環境の確保に係る施策の実施</li> </ul>	生活環境課

## 5 環境に関する苦情等受付状況

### (1) 市内で発生した苦情

公害等に関する苦情については、近年、公害関係法による規制の強化、企業の公害防止に対する認識の向上等により、広域的なものや緊急性の高い深刻な事案は殆どありませんが、苦情発生源は多様化しています。

また、飼い猫の登録が増加傾向にあり、近隣住民の多頭飼いや野良猫へのえさやり等、猫の苦情・相談等が多くなっています。犬については、住宅密集地での鳴き声の苦情や、散歩の際のフン・尿の放置の相談が寄せられています。

廃棄物については、ごみ集積所でのルールを守らないごみが増加傾向にあります。

今後もホームページや広報、環自協だよりなど、様々なツールを利用して、広範囲にわたる環境問題に関する情報提供、意識の啓発に努めていきます。

年度／種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	廃棄物	犬・猫	合計
R3	5	5	9	0	8	148	138	175
R2	11	4	11	0	6	125	101	258
R1	10	3	11	1	8	117	96	246
H30	9	0	8	0	12	132	119	280
H29	13	5	12	2	8	137	148	352

環境に関する苦情件数の推移（件）

### (2) 市の業務に対する苦情

市の業務に対する苦情については、道路や学校の草木に関する相談が多く寄せられました。また、貸館利用者による騒音や、発注した工事に伴う砂埃等の相談も寄せられ、今年度は下記のとおり対応を致しました。

今後は相談が寄せられる前に迅速に対応できるよう、市全体の環境配慮に対する意識の向上に努めていきます。

内容	対応
道路、学校等の敷地内の草木に関する相談	草木の剪定、落ち葉の撤去等を実施
貸館利用者による騒音に関する相談	利用者に聞き取りを行い、対応を協議
発注工事した工事に伴う砂埃等に関する相談	業者へ指導、地元住民へ説明

市の業務に関する苦情の内容と対応

## 6 代表者による全体評価

本市においては、2020年度に策定した「第6次藤枝市総合計画」において、4K（健康・教育・環境・危機管理）施策と「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりにICT（情報通信技術）を掛け合わせるにより、「力強い経済」、「安全・安心な社会」、「優しい環境」の三方良しの持続可能なまちづくりを推進し、多領域での政策目標「藤枝版ローカルSDGs」を掲げて、地方創生の一層の充実・深化とともに、その達成を目指しています。

また、環境分野においては、2001年度に「藤枝市環境基本計画」を策定、2020年度に「第3次藤枝市環境基本計画」へと改定するとともに、2021年2月には「ゼロカーボンシティ」を表明し、本市の環境を将来に引き継いでいくため、持続可能な脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会の形成へ向けて市民・事業者・行政の協働の基に環境活動を行ってきました。

市内の環境マネジメントの推進に関しては、エコアクション21による推進を図っております。エコアクション21は2008年3月に認証登録して10年以上が経過し、各課のエコアップマネージャーを中心とした部内マネジメント体制を整え、各部門において環境負荷の低減に努めております。

また、エコアクション21に定められた各項目での環境負荷の削減を目指すだけでなく、本来業務においても「藤枝市役所エコアップ・エコオフィスプラン」に基づき、環境負荷を軽減する取組について工夫して実施しております。

今後も、職員一同一丸となって、かけがえのない環境を未来へ引き継ぐ取組を積極的に取り組んでまいります。

令和4年7月  
藤枝市長 北村 正平





®環境省

エコアクション21

認証番号 0002302

## 藤枝市 環境政策課

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山1丁目11番1号

電話 054-643-3183

E-Mail [kankyoseisaku@city.fujieda.shizuoka.jp](mailto:kankyoseisaku@city.fujieda.shizuoka.jp)

ホームページ <https://www.city.fujieda.shizuoka.jp>

発行 令和4年7月